

教育行政報告要旨

令和6年度の児童生徒数と学級数

児童生徒数は、小坂小学校が前年度同日と比較して7人減の131人、小坂中学校は5人減の83人となり、小・中学校を合わせたと214人となりました。

小坂小学校の学級数については、普通学級が6学級、特別支援学級が3学級で、どちらも前年度と同数で、合わせて9学級となりました。小坂中学校は、普通学級が3学級で前年度と比較して、特別支援学級が2学級減となりました。

鹿角小学校陸上競技大会について

「第51回鹿角小学校陸上競技大会」が5月25日に行われました。

5年女子100mで村木真悠さんが2位、6年男子1,000mで目時珀玖さんが優勝、5年男子1,000mで永田悠真さんが2位となるなど入賞者を出し、日頃の練習の成果を発揮

してくれました。

今後とも、学校や家庭と連携し、児童・生徒の運動能力、体力向上に取り組んでいきます。

十和田湖山開きについて

6月2日、58回目となる「十和田湖山開き」が、行われました。

今年度は、初級者向け「はごろもコース」の山歩きを実施する予定でしたが、ツキノワグマによる人身事故により、全域入山禁止となったことから中止としました。

神事についても、「樹恩の鐘」から「十和田ふるさとセンター」に場所を変え、関係者のみで執り行いました。

十和田湖山開きは、小学生から高齢者まで幅広い世代が国立公園である十和田湖に向けて歩き、集い、自然に触れ、世代間の交流や健康づくりの機会として、大きな意義がある事業と捉えていますので、今回は残念でしたが、今後も多くの町民みなさんに参加してもらえよう取り組みんでいきます。

主な議決事項

条例改正

◆小坂町町税条例
◆小坂町ふるさと定住促進に係る新築住宅の固定資産税減免条例

◆小坂町国民健康保険税条例
◆小坂町過疎地域持続的発展のための固定資産税減免条例

◆小坂町民間活力を利用した賃貸住宅の固定資産税減免条例

◆小坂町子ども・子育て会議条例

◆小坂町給水条例

◆小坂町水道事業布設工事監督者の資格基準等を定める条例

◆小坂町下水道条例

◆協定変更
◆大館圏域定住自立圏の形成に関する協定

◆補正予算
◆令和5年度補正予算専決

◆一般会計(第8号)
◆国民健康保険特別会計(第2号)

◆後期高齢者医療特別会計(第2号)

◆介護保険特別会計(第4号)

◆歯科診療所特別会計(第2号)

◆令和6年度補正予算

◆一般会計(第1号)

◆介護保険特別会計(第1号)

◆水道事業会計(第1号)

令和5年度各会計の決算見込み

令和5年度は「第6次小坂町総合計画」の3年目の年にあたり、「ひとと自然と文化を未来につなぐ魅力あふれるまち」という目標に向かって、「まち」「ひと」「しごと」をキーワードとした3つの重点プロジェクトに取り組みました。

移住定住促進、大規模畑作農業推進、十和田湖和井内エリア整備、町道改良、災害復旧など、

積極的に施策を展開したほか、物価高騰対策など、地域経済や住民生活を守る支援策について、万全を期しました。

財政運営では、一般会計の収入において、町税が減、地方交付税では普通交付税と臨時財政対策債発行額が減、特別交付税が減となりましたが、実質収支において、5千万円ほどの黒字決算の見込みとなりました。

令和5年度各会計の決算見込み

■一般会計

歳入 51億2,120万2千円
歳出 49億7,905万7千円
差引 1億4,214万5千円

■国民健康保険特別会計

歳入 4億6,541万2千円
歳出 4億6,448万2千円
差引 93万 円

■後期高齢者医療特別会計

歳入 8,424万4千円
歳出 8,422万8千円
差引 1万6千円

■介護保険特別会計

[保険事業勘定]
歳入 8億円
歳出 7億9,750万6千円
差引 249万4千円

[介護サービス事業勘定]
歳入歳出とも 331万6千円

■歯科診療所特別会計

歳入歳出とも 5,229万5千円

■中小企業従業員退職金等

共済事業特別会計
歳入歳出とも 183万6千円

■菅原ヤエ奨学資金特別会計

歳入歳出とも 126万8千円

■小坂財産区特別会計

歳入 341万4千円
歳出 207万6千円
差引 158万1千円

■水道事業会計

[収益的収支]
収入 2億2,414万7千円
支出 1億9,560万2千円
差引 △1億9,560万2千円

[資本的収支]
収入 2,160万7千円
支出 2億1,279万7千円
差引 △1億9,119万 円

■下水道事業特別会計

[収益的収支]
歳入 1億9,547万7千円
歳出 1億7,967万7千円
差引 1,082万 円

[資本的収支]
収入 9,043万1千円
支出 1億5,600万9千円
差引 △6,557万8千円